



高校生が税務署のインターシップに参加しました

8月21日、22日、川島税務署にて吉野川高校と阿波西高校の2年生4人がインターシップに参加し、国税電子申告・納税システム(e-Tax)を使った申告書作成などを学びました。また、最終日に行われた模擬記者発表では、「スマートフォンを利用した確定申告」をテーマに発表し、実際の新聞記者との質疑応答を体験しました。参加した生徒からは「短い時間だったが、将来に向けて貴重な体験ができた」や「初めての体験だったが、税に興味を持つことができ、良い経験になった」と感想が述べられました。



税務署職員から業務を教わる高校生たち

日本一を目指して



8月23日、吉野川体育協会に所属しているソフトボールチーム『吉野川市 MARC』の山下大介監督と渡部國博理事長(市ソフトボール協会)が市役所を訪れ、『吉野川市 MARC』、『吉野川クラブ』、『吉野川クラブ実年』の3チームが全国大会に出場することを市長に報告しました。渡部理事長からは「『吉野川市 MARC』は西日本大会での優勝経験もあり、全国大会でも期待が出来る」と山下監督を鼓舞する様子も見られ、全国大会優勝への期待が高まりました。

左から原井市長、渡部理事長、山下監督

中四国の神楽団体が集結!!

8月24日、山川町川東名神代御宝踊り保存会が市役所を訪れ、11年ぶりに広島県で開催される『中四国神楽フェスティバル in ひろしま』への参加を市長に報告しました。表敬訪問では、「お宝踊り」の起源を紙芝居で説明したほか、地元小中学生による「お宝踊り」が披露されました。



川東名神代御宝踊り保存会の皆さんと



「シャボン玉おじさん」がやってきた!!

8月27日、吉野川市ポケットパークで「シャボン玉おじさん」によるシャボン玉ショーが行われました。スモークバブルやバブルインバブルを始め、さまざまな形のシャボン玉を次々と生み出していくパフォーマンスに子どもたちは大興奮の様子でした。ショー終了後はシャボン玉道具の貸し出しもあり、親子で楽しむ姿が見られました。

シャボン玉ショーの様子

SUMMER & 防災フェスタ

8月27日、日本フネン市民プラザで「SUMMER & 防災フェスタ」が開催され、多くの来場者で賑わいました。会場では、親子でプッシュ講習会(心肺蘇生講習会)や川島高校生による絵本読み聞かせ、大型防災紙芝居、防災ダンスなどさまざまなステージイベントが行われました。また、ドローンサッカー体験や防災クイズなど楽しく防災知識を学べるブースもあり、来場者は各ブースを回り防災フェスタを楽しんでいました。



△親子でプッシュ講習会 △川島高校絵本プロジェクト △救急救命講習会 △日本防災用公衆電話171 △災害時に活躍する車両展示



高みを目指して

8月30日、レスリング選手の澤田幸明さん(拓大3年)が市役所を訪れ、8月19日にヨルダンのアンマンで行われた「2023年U20世界選手権」で銅メダルを獲得したことを市長に報告しました。澤田選手の階級は男子グレコローマン63kg級で、今後の目標は「ロサンゼルスオリンピック出場。大学在学中に一般の大会でも優勝したい」と意気込みを語りました。

左から原井市長、澤田選手

「生活不活発病」予防のポイント
歩きにくくなっても、杖や伝い歩きなどの工夫を

川島城ライトアップ

8月9日、川島城で川島城ライトアップ点灯式が行われました。本事業は、川島城の魅力再発見を願う市民の思いから、市の広報サポーターでもある阿部和剛さんが市にライトアップの充実を提案し、ガバメントクラウドファンディング®により実現したものです。点灯式では、阿部さんから原井市長へ照明灯の寄贈が行われた他、カウントダウンのかけ声とともにお城が照らされ、昼間とは違った魅力の夜城が姿を現しました。ライトアップは当面の間、日没から午後9時30分まで実施されます。



川島城ライトアップの様子

新たな目標を胸に



8月14日、川島ソフトテニスクラブに所属する阿部裕真さん(西麻植小)と池本ひよりさん(学島小)、市場ジュニアクラブに所属する岡田爽汰さん(西麻植小)が8月3日~6日に兵庫県で行われた全日本小学生選手権大会出場結果を市長へ報告しました。今回、トーナメントを勝ち進むことは出来ませんが、阿部さんからは「中学生になっても、四国大会や全国大会に行きたい」、池本さんからは「県内の大会でまだ優勝したことがないので、優勝したい」、岡田さんからは「今年10月に行われる西日本大会に出場できるように頑張りたい」との熱い思いが語られました。

左から原井市長、阿部さん、岡田さん、池本さん

歌声を全国へ

8月16日、吉野川市を拠点に活動する「エトワール山川」と「メープルエコー川島」の皆さんが全国大会出場を報告するため市役所を訪れました。両団体は6月に開かれた『第46回全日本おおかさんコーラス四国支部徳島大会』で、出場した23団体の中から見事代表に選ばれ全国大会出場を決めました。全国大会出場は「エトワール山川」が2回目、「メープルエコー川島」が3回目となります。

「メープルエコー川島」と「エトワール山川」の皆さんと



左から原井市長、黒川さん、毛利さん

全国大会初出場!!

8月17日、吉野川ジュニアアスリートクラブに所属する、黒川夏帆さんと毛利麗空さんが市役所を訪れ、市長へ全国小学生陸上競技交流大会の出場を報告しました。黒川さんは80mハードルと走高跳の2種目合計点で順位を競うコンバインドA、毛利さんは5年生100mで見事徳島県1位となり全国大会出場を決めました。黒川さんからは「ハードル・高跳びともに自己ベストを出せるように頑張ります」、毛利さんからは「決勝戦に残れるように頑張ります」と全国大会に向けての意気込みが語られました。

一夜限りの『鴨島阿波おどり』

8月16日、鴨島駅前前で地元有志による『鴨島阿波おどり』が開催されました。「太鼓の楽校」の演奏を皮切りに、地元連の「舞絆踊連」や「もっこ連」をはじめ、「あびす連」、「殿様連」、「阿波おどり振興協会合同連(徳島市)」などの有名連も参加し、計12連が鴨島の暑い夏を盛り上げました。また、グランドフィナーレでは来場者も一緒になって阿波踊りを踊る姿も見られ、一夜限りの阿波おどりを堪能していました。

阿波おどり振興協会合同連(徳島市)▷



鴨島駅前周辺『吉野川マルシェ』で賑わいました!



吉野川高等学校農樹専攻班の生徒たち 吉野川高等学校食品製造専攻班の生徒たち

8月20日、JR鴨島駅周辺から日本フネン市民プラザまでのエリアで『吉野川マルシェ』が開催されました。今回は吉野川高等学校農樹専攻科果樹専攻班と食品製造専攻班の生徒らも参加し、自分たちの手で育てた「シャインマスカット」や手作りの「クッキー」、「マドレーヌ」などを販売しました。また、阿波おどりが同時開催され、舞絆踊連、もっこ連、きらく連、舞雀連・龍虎連合同連が会場を盛り上げました。

「生活不活発病」予防のポイント
家庭・地域・社会で楽しみや役割をもちましょう